

😊絵本読み聞かせ通信😊

【赤ちゃんから幼児向け】

♣保護者の皆様へ♣

第2号（令和5年7月発行）芦別市立図書館

♣子どもといっしょに読書をしてみましょう♣

子どもが大きくなるほど、一緒に何かをするということがなくなってきます。けれども共通の楽しみや話題があると、会話も弾み、子どもとの距離が近くなります。

子どもが興味を持っている事、大好きな事、好きな食べ物などが描かれている絵本を読んでもらえると、子どもはとても喜ぶます。読んでもらうことで、愛情を感じます。

たくさんの言葉かけをすることで、言葉がどんどん増えていき、言葉と行動が伴ったときに、お話ができるようになります。絵本を読みながら、子育てを楽しんでみませんか。



「おはなしが上手な子は本が好き！」

★絵本の言葉でおはなし★

絵本の中の言葉は、とても少ないので、選びぬいて、子どもにわかる言葉を使っています。絵の動きに合わせて、音の響きが良く、リズムカルです。何度も読んでいると、覚えて、いっしょに声を出すようになりますよ。

★成長のスピードは個性★

成長の早い子、遅い子がいます。言葉がなかなか出ないと心配ですが、心の中にたくさんの言葉を蓄えてから話始めるようです。話し始めが遅くても、それは個性。本を読んでいる子は、だんだんと語数がふえていきます。子どもとたくさんふれあって、子育てをゆっくりと楽しんでください。

★繰り返し読む本★

子どもに絵本を読むと、何度も同じ本ばかり読まされます。それは、お気に入りだから。何度も読む時は、別の本を1冊読んでから読むというふうに工夫すると、他の本も読むことができ、好きな本がふえていきます。

★絵本はおもちゃ★

子どもにとって、本はおもちゃと同じです。やぶるからとか、なめるから触らせないのではなく、1冊ずつ取って読んであげ、読み終わったら少し高いところに置くようにしてみてはいかがでしょうか。ページをめくる時に手をのばしてきたら、手を添えてあげてください。赤ちゃん絵本には、舐めても安全なインクを使っている本が多くあります。ボードブックという厚紙でできている本は安心して持たせることができますよ。

★絵をたのしんで★

子どもに絵本を読んでいると、意外なところで喜ぶことがあり、ここがおもしろいのかと思うことはありませんか？本を読んでもらっている子どもは絵を見ています。子どもになったつもりで、絵を見ると、おもしろさがわかります。絵本は絵と文を両方楽しめる本です。



おすすめ本リスト

0～2歳

おとがたのしい

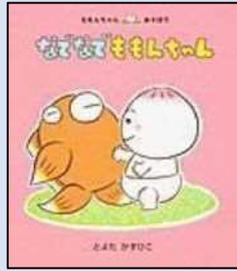


「じゃあじゃあびりびり」

作・絵：まつのりこ

出版社：偕成社

なでなでして、あそぼう！



「なでなでももんちゃん」

作・絵：とよたかずひこ

出版社：童心社

おひざにのせて



「ぼんぼんポコポコ」

作・絵：長谷川義史

出版社：金の星社

こわいけど だいにんき



「ねないこだれだ」

作・絵：せなけいこ

出版社：福音館書店

あてっこがたのしい

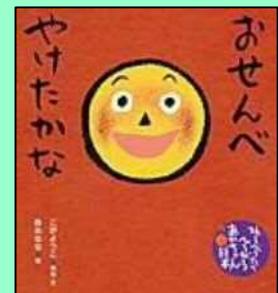


「だれがしら」

作・絵：多田ヒロシ

出版社：文化出版局

うたってあそぼう！



「おせんべやけたかな」

作：こがようこ 絵：降矢なな

出版社：童心社

絵本でコミュニケーション

赤ちゃんのご機嫌が良い時に、膝の上ののせて絵本を見せてください。笑顔になったでしょう。絵本は赤ちゃんにとっておもちゃと同じなんです。不思議なことに、絵本を読むときは、誰でもやさしい声になります。何度も読んでいると、いつのまにか覚えて、同じように音を出すようになりますよ。絵を見せて声掛けをすることで、物の名前を覚えたり、会話の方法を習得していきます。たくさんお話してあげてください。

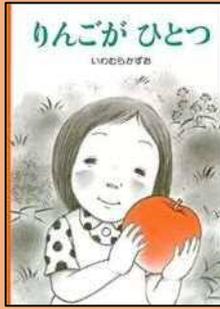
選び方のポイント

色がはっきりしていて絵がわかりやすい、繰り返しのリズムがあり、どこから読んでも楽しめるものがおすすめです。赤ちゃんが持てるように、小さくて軽いのも特徴です。

その他のおすすめ本

- ・ぎゅっ (ジェズ・オールバラ)
- ・ノンタンおしっこしーしー (キヨノサチコ)
- ・はらぺこあおむし (エリック・カール)
- ・ばななくんがね… (とよたかずひこ)
- ・ぐうちよきばあでなにつくろう (宮川桃子／関戸勇)
- ・こんにちは (わたなべしげお／おおもやすお)
- ・いいおかお (松谷みよ子／瀬川康男)
- ・あっぱっぴ (中川ひろたか／村上康成)
- ・くっついた (三浦太郎)
- ・おつきさまこんばんは (林明子)

りんご おいしそう！



「りんごがひとつ」

作・絵：いわむらかずお

出版社：銀河社

じょうずにはけるかな



「パンツのはきかた」

作：岸田今日子 絵：佐野洋子

出版社：福音館書店

心があたたかくなる本



「あなたのことがだいすき」

作・絵：ヒト・ファン・ヘネテン

出版社：フレーベル館

みんなだいじ



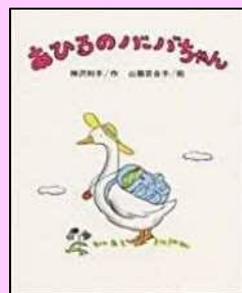
「おやゆびさん」

作：風木一人

絵：ひろかわさえこ

出版社：すずき出版

ぽけっとだいすき

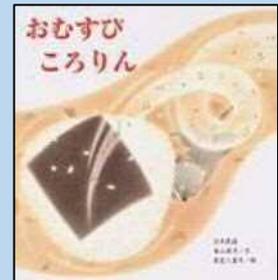


「あひるのバーバちゃん」

作：神沢利子 絵：山脇百合子

出版社：偕成社

リズムがたのしい



「おむすびころりん」

作：香山美子 絵：高見八重子

出版社：すずき出版

選び方のポイント

色々なことが分かるようになり、次に出てくる物を当てたり、言葉遊びができるようになります。何度も同じ本を読みたがるのは、知っていることがうれしくて、その本が心の年齢に合っているのです。ロングセラー（長年愛されている本）には、子どもの心をとらえる魅力が詰まっています。出版年も参考にしてみてください。

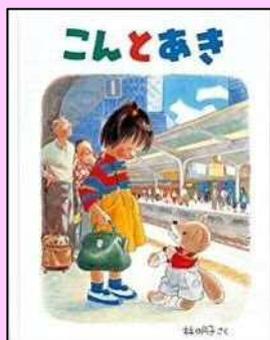
絵を楽しんでください

子どもと一緒に絵をゆっくり見ると、色々なものが描かれているのが分かります。例えば、「りんごがひとつ」のカエルやとんぼの動き、登場人物の表情がかわいい！そして赤色の使い方が効果的。

その他のおすすめ本

- ・なにをたべてきたの？（岸田衿子／長野博一）
- ・すーちゃんとねこ（さのようこ）
- ・みんなうち（五味太郎）
- ・おっばい（みやにしたつや）
- ・うしろにいるのだあれ（accototo ふくだとしお+あきこ）
- ・ぼくのくれよん（長新太）
- ・まめうしくんとものまねー（あきやまただし）
- ・どろんこハリー（ジーン・ジオン／マーガレット・ブロイ・グレアム）
- ・だってだっておばあさん（さのようこ）
- ・だるまちゃんをとんぐちゃん（加古里子）

ふたりのぼうけん



「こんとあき」

作：林 明子

出版社：福音館書店

おとなもたのしい



「やさいのおなか」

作・絵：きうちかつ

出版社：福音館書店

えっ、どうする？



「おまたせクッキー」

作・絵：パット・ハッチンス

出版社：偕成社

かたつむりのひみつ



「すきになりそう…」

作・絵：いもとようこ

出版社：至光社

ぼくだけかな

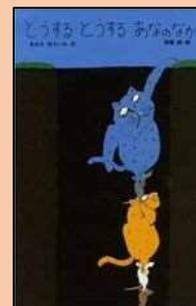


「おしっこちよっぴりもれたろう」

作・絵：ヨシタケシンスケ

出版社：PHP 研究所

どうしたらいいとおもう？



「どうするどうするあなのなか」

作：きむらゆういち

絵：高島純

出版社：福音館書店

本好きな子に育てよう

文字を読めるようになると、読み聞かせは終わりのと思っていませんか？文字を読めるのと、文章を理解できるということは違います。読んでもらうと色々なことを理解することができ、より楽しむことができます。読み聞かせをすると、子どもと同じ本を楽しむことになり、心の成長が分かります。本をたくさん読んでもらっている子は、本好きになりますよ。

絵本はおもしろい！

心に染みる、おもわず笑っちゃう、専門書よりも分かりやすいなど、優れている本があります。大人が楽しめる絵本もたくさんありますよ。

その他のおすすめ本

- ・わにさんどきっはいしゃさんどきっ(五味太郎)
- ・11ぴきのねこ (馬場のぼる)
- ・すいかのたね (さとうわきこ)
- ・おおかみと七ひきのこやぎ (フェリックス・ホフマン)
- ・だいくとおにろく (松居直/赤羽末吉)
- ・にゃーご (宮西達也)
- ・いいからいいから (長谷川義史)
- ・これはのみのぴこ (谷川俊太郎/和田誠)
- ・へんしんトンネル (あきやまただし)
- ・ライオンのよいいちにち (あべ弘士)
- ・からだがかゆい (岩合日出子/岩合光昭)